

第65回 (2017年度)
帝人久村奨学生 募集要項 [修士課程]

2017

TEIJIN SCHOLARSHIP FOUNDATION
KUMURA

本奨学金の特色

- 1) 修士課程8万円/月を貸与（他奨学金との併給が可能）
外国人留学生の場合は、5万円/月を給付。
- 2) 卒業後、帝人奨学会指定の大学や研究機関等で学術研究活動に所定期間従事した場合には、返還が免除されます。
- 3) 本奨学金は、経済的困窮度よりも、成績・研究に対する熱意や取り組み内容を重視します。
- 4) 本奨学金を受給したことによる帝人グループ各社への入社等その他の付帯義務はありません。

募集要項

1. 応募資格

指定大学の医学・薬学系、バイオ学系、理工学系、工学系、情報学系等に在籍している学生で次の条件に該当し、学部長又は学科主任教授の推薦を受け、かつ学校推薦を受けた者。

● 2016年秋(9月、10月)または2017年4月に修士課程に進学することが決定している、または見込まれている大学院生(外国人留学生も可)

*現在在学している大学から、他の大学院へ進学する場合は原則として現在の大学から応募してください。

*外国人留学生の場合は、留学予定先の大学から応募してください。

2. 採用人員

修士課程：10名程度(1名程度を外国人留学生(給付)とする)

3. 採用基準

本奨学金では、経済的困窮度よりも、成績・研究に対する熱意や取組み内容を重視して選考します。

4. 選考方法

(1) 第1次選考

書類選考

(2) 第2次選考

第1次選考合格者に対して、次の系列毎の専門面接により選考します。

- 医学・薬学系(医学、薬学等)
- バイオ学系(バイオ、生物、環境等)
- 理工学系(化学、物理、数学、材料等)
- 工学系(電気・電子工学、機械等)
- 情報学系(情報システム、電子システム等)

(3) 最終選考

第2次選考合格者に対して、当会選考委員による面接を実施し、奨学生を決定します。

5. 選考スケジュール

(1) 修士課程進学予定者(学部生)

選考方法	日程	場所
2次面接	4月下旬～5月上旬に実施	帝人(株)東京本社内
最終面接	6月8日(木)に実施	帝人(株)東京本社内

※選考日時・場所等の詳細については、受験者宛に別途ご案内します。

(2) 2018年度博士課程進学予定者(修士生)については2017年8～9月頃に募集致します。

6. 提出書類(応募書類は当会HPからダウンロード可)

- (1) 公益財団法人帝人奨学会帝人久村奨学生志願者調査(所定用紙、写真貼付):志願者本人が作成するもの。
- (2) 公益財団法人帝人奨学会帝人久村奨学生推薦調査(所定用紙):指導教授に作成いただくもの。
- (3) 学業成績証明書
- (4) 健康診断書(過去6ヶ月以内のもの)
- (5) 現在の研究概要をA4判2～3枚に簡潔にまとめたもの1部

(6) 個人情報の取扱いに関する同意書(所定用紙):志願者本人が自署したもの。

(7) 在留資格認定証明書(在留カード等)
※外国人留学生のみ

7. 提出締切日

2017年3月17日(金)必着 各大学3～5名推薦

8. 最終合否の決定

2017年6月下旬までに合否結果を文書で連絡します。

9. 奨学金の取扱い概要

(1) 貸与または給付期間

2017年4月から正規の修士課程修了月までとします。修士課程に引き続き、博士課程でも貸与を希望する場合は、他の受験者と同一条件で学校推薦を得た上で、当会の審査を受けるものとします。(海外留学する場合は、原則として貸与・給付を休止します。)

(2) 奨学金貸与額または給付額

① 貸与額

2017年度募集 80,000円/月(修士課程)

② 給付額(外国人留学生)

2017年度募集 50,000円/月(修士課程)

※本誌第1項応募資格で規定する資格保有者で且つ日本国への外国人留学生は「給付」とします。尚、当会が定める外国人留学生とは、出入国管理及び難民法における「留学」に該当する者を指します。

(3) 貸与または給付開始月

2017年4月から開始

※2016年秋(9月、10月)入学者も同様です。

(4) 貸与または給付方法

奨学生指定の金融機関の個人口座に偶数月初旬に貸与額の2ヶ月分を振込みます。

(5) 貸与金の返還

ア. 当会指定の大学研究機関等(独立行政法人日本学生支援機構が指定した機関に準じます)で学術研究活動に所定期間従事した場合には、返還を免除します。※所定期間:貸与期間の2倍の期間

イ. 上記ア. 以外の場合には、貸与期間終了6ヶ月後から奨学金貸与月数の5倍の期間以内に半年賦で返還いただきます。但し、貸与金は無利子とします。

(6) その他

ア. 他の奨学金との併給が可能です。

イ. 帝人グループへの入社等その他の付帯義務はありません。

ウ. 先輩帝人久村奨学生からのメッセージもぜひご覧頂き、応募の参考として下さい。

(<http://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/scholarship/message.html>)

公益財団法人帝人奨学会概要



帝人(株)創業者
久村 清太氏
(1880-1951)

公益財団法人帝人奨学会は、1953年6月の帝人株式会社創立35周年を記念した「帝人奨学会久村奨学生制度」を端緒として発足しました。翌1954年、この制度の一層の発展を期すため、奨学金事業を主事業として、財団法人帝人奨学会を設立しました。その後2011年に内閣総理大臣の認可を得て「公益財団法人帝人奨学会」に改組し今日に至っております。

帝人奨学会の目的は、人造絹糸(レーヨン)の製造技術を独自に確立し、「日本化繊工業の父」と呼ばれた久村清太氏の功績を讃えて、独創的な研究開発の精神を継承発展させるとともに、国家・社会の発展と文化創造に貢献する「若き科学技術者を育成する」ことにあります。

創立以来この制度を貫く本質的な精神は変わっておりません。本制度は一企業のためではなく、国家社会の発展を担う人材育成を主眼にしております。このため、卒業後、大学や公的な研究機関で研究に従事する場合は、奨学金の返還を免除しています。また、将来の科学技術を担う研究者を育成するために、経済的な条件等を問わず学業優秀であれば奨学金の貸与を認めております。更に、本制度は発足以来、帝人株式会社への入社等の義務的拘束は一切設けておらず、公益財団法人の本質を堅持しております。

これまでに、ノーベル化学賞受賞者など1,500名以上の方が大学研究機関や民間企業で活躍されています。

1. 沿革

1953年(昭和28年)6月
帝人株式会社創立35周年事業として、育英制度を設立。
1954年(昭和29年)7月
文部大臣の許可を得て、財団法人帝人奨学会が発足。
2011年(平成23年)10月
内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人へ移行

2. 目的

科学技術者としての自己の使命を自覚し、国家・社会の発展と文化創造の担い手となる人材の育成を目的とする。

3. 帝人久村奨学金及び帝人久村奨学生命名の由来

日本で初めて化学繊維(レーヨン)の製造技術を確立し、その後の化繊工業の発展の礎を築いた、久村清太氏の功績を讃え、その偉業を永く後世に伝えるため、当会の奨学金を「久村奨学金」及び奨学生を「久村奨学生」と命名し、50周年を機に「帝人久村奨学生」、「帝人久村奨学金」と改めました。

4. 事業内容

技術系大学院生に対する帝人久村奨学金の貸与・給付。

5. 奨学生の実績

累計奨学生数:第1回(1953年)より第64回(2016年)
までの帝人久村奨学生1,595名

6. 役員

理事長
鈴木 純(帝人株式会社 代表取締役社長執行役員)

理事
太田 茂(広島大学大学院教授)
大田 治彦(九州大学大学院教授)
(選考委員兼務)
加藤 直樹(京都大学名誉教授/関西学院大学教授)
(選考委員兼務)

監事
高原 淳(九州大学先端物質化学研究所 所長)
菱谷 純(帝人株式会社 常勤監査役)

評議員
内田 龍男(東北大学名誉教授/国立高等専門学校機構 顧問)
澤本 光男(京都大学大学院教授)
岩澤 伸治(東京工業大学大学院教授)
梅谷 博之(帝人グループ執行役員 技術開発部門長)

選考委員
片岡 一則(公益財団法人川崎産業振興財団
ナノ医療イノベーションセンター センター長)
小林 資正(大阪大学大学院教授)
後藤 陽(帝人株式会社 代表取締役専務執行役員 技術本部長)
早川 泰宏(帝人グループ執行役員 人事・総務本部長)

(2017年1月1日現在)

『若者よ海外へ出よ!』

～ノーベル化学賞 受賞(2010年) 米パデュー大学 根岸 英一 特別教授からのメッセージ～

1958年に私が帝人に入社したころ、当時の大屋晋三社長は「若者よ海外へ出ろ。10年に1ヶ国語ずつ学べば、30年で3ヶ国語が話せるようになる。そうすれば君たちも世界で通用するようになる」と仰っていました。私がこのような道を歩むことができた原点は、この大屋社長の言葉にあります。

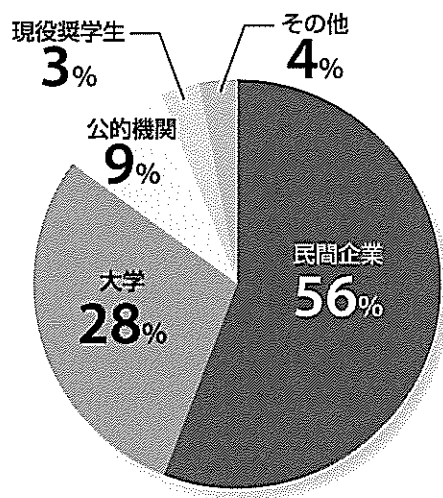
私の専門である化学のコンペティション(競争)の場は世界であり、いまや我々のプレーグラウンドは世界です。また学ぶための師も世界単位で探し、世界の競争の中でトップになることを目指す時代です。そういう意味で、皆さんのような若者には、積極的に海外へ出て頂きたいと思います。

そして自らの「夢」を見つけたら真理を突き詰めるまで、とことんチャレンジしてください。今後の皆さんの大いなる活躍に期待しています。



米パデュー大学
根岸 英一特別教授
(帝人グループ名誉フェロー)
帝人久村奨学生第5回生(1957年)

帝人久村奨学生データ



帝人久村奨学生総数 **1,595**名

現役帝人久村奨学生 **40**名

帝人グループについて

帝人グループは、まもなく創立100周年を迎えます。1918年に日本初のレーヨンメーカーとして発足したのが始まりですが、非常に困難な課題を乗り越え、レーヨンの製造技術を確立し、事業を大きく発展させました。そして、その後も常にチャレンジ精神を持ち、合成繊維メーカーへの転換、医薬事業への進出、日本にはなかった在宅酸素療法事業の創出など、時代の進展とともに培ってきた化学技術や最先端の研究開発を通じて、事業の拡大、新規分野への進出、グローバル化を推し進めてきました。現在は、「高機能素材」「ヘルスケア」「IT」という3つの異なる領域において事業を展開しています。

目まぐるしく環境が変化する国際社会において、今、帝人グループは「ソリューション提供型事業体」へと進化すべく、抜本的な事業構造改革と将来に向けた発展戦略を強力に推進しています。そして、3つの異なる事業領域を併せ持つユニークな企業体として、各事業の強みをさらに強化するとともに、それぞれの領域の優位性ある技術や製品を融合させて、他には真似のできない新たな価値の創造に挑戦しています。帝人グループは、「環境・省エネ」「安心・安全・防災」「少子高齢化・健康志向」といったマクロトレンドに対応したソリューション、すなわち社会やお客様が求める価値の提供を通じて、企業理念に掲げる人々の「Quality of Life」の向上に貢献していきます。

帝人グループは、「未来の社会を支える」という気概を持ち、新たな価値を創造・提供することにより、持続的な成長の実現を目指しています。その道のりは平たんではありませんが、グループ一丸となり、目指すべき姿に向かって挑戦し続けていきます。

帝人株式会社概要

創 立 …… 1918年6月

代 表 者 …… 代表取締役社長執行役員 鈴木 純

資 本 金 …… 708億円 (2016年3月)

売 上 高 …… 連結：7,907億円 (2016年3月)

営 業 利 益 …… 連結：671億円 (2016年3月)

従 業 員 数 …… 連結：15,756名 (2016年3月)

主要事業内容 …… 高機能繊維・複合材料、電子材料・化成品、ヘルスケア、流通・製品、IT

URL: <http://www.teijin.co.jp/>

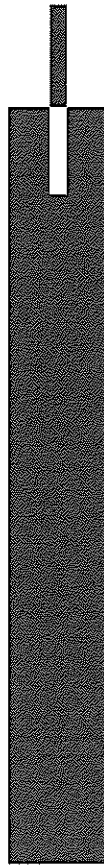
公益財団法人帝人奨学会

応募書類送付先及びお問い合わせ先
公益財団法人帝人奨学会 (帝人株式会社 人事部内)

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3-2-1

TEL: 03-3506-4424 E-mail: kumura@teijin.co.jp

<http://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/index.html>



65st

Teijin Kumura Scholar Application Guide (Master's Course)

2017

TEIJIN SCHOLARSHIP FOUNDATION
KUMURA

Feature of this scholarship

- a) Japanese students: ¥80,000/month(Master's Course)
you can receive other Scholarship.
- b) Non-Japanese students: ¥50,000/month(Master's Course)
No need Scholarship repayments for foreign students.
- c) We select a Scholarship student with grade and research level.
- d) Not obligated to join Teijin Limited.

Application Guide

1. Qualification Requirements

- (1) The applicant must be a student in a medical / pharmaceutical science, bioscience, science, engineering or information-science related course at a designated university.
- (2) Fulfill the following conditions, receive the recommendation of a faculty head or senior faculty professor and the recommendation of a school.
- (3) Students who have decided to study in a Master's course from September/October 2016 or April 2017. (Foreign students may also apply.)

* When you will transfer to another university, please apply from the university that you currently belong to.

2. Number of Scholarship Recipients

Master's course: 10

* Among these, about one person is a foreign student.

3. The view about selection

We select a scholarship student with grade and research level.

4. Selection Method

- (1) Preliminary selection
Screening of application materials
- (2) Secondary selection
Applicants who pass the preliminary selection will be screened in specialized interview.
 - Medical / pharmaceutical
 - Bioscience (bioscience, biology, environmental science, etc)
 - Science (chemistry, physics, mathematics, material science, etc)
 - Engineering (electrical/ electronic engineering, machine engineering, etc)
 - Information science (information systems, electronic systems, etc)
- (3) Final selection
The foundation's selection committee will interview applicants who pass the secondary selection to determine the scholarship recipients.

5. Selection Schedule

Selection method	Schedule	Location
Secondary selection	Late April-Early May	Teijin Limited (Tokyo HQ)
Final selection	June 8th	Teijin Limited (Tokyo HQ)

* Details of selection dates and locations, etc, will be announced separately to applicants.

* Students who are planning to study in a Doctor's course will be received in August-September 2017.

6. Documents Submitted (Application form can be download from Our Website)

- (1) Teijin Scholarship Foundation Teijin Kumura Scholar Applicant's Statement (Use the designated form; attach a photograph): Submit a form signed by the applicant in person

- (2) Teijin Scholarship Foundation Teijin Kumura Scholar Recommendation Statement (Use the designated form): Submit a form created by the supervising professor
- (3) Evidence of academic achievements
- (4) 1 copy of a concise summary of 2-3 A4 pages of your current research brief
- (5) Written consent for the handling of personal information (Use the designated form): Submit a form signed by the applicant in person
- (6) Health certificate (The past less than 6 months)
- (7) Certificate of Eligibility (only foreign students)

7. Deadline for Application

Application submission should reach by March 17th, 2017 (Fri)
3-5 recommendations per university

8. Final Decision

The written notice of results for the Final selection process will be sent by End of June 2017.

9. Overview of Scholarship Handling

- (1) Loan period
The loan period is the regular period from April 2017 to the completion of the Doctor's course. If an applicant wishes to apply for a loan for a Doctor's program continuing on from a Master's program, the applicant must undergo screening by the foundation after obtaining the recommendation of their school under the same conditions as other applicants. (If you study abroad, we stop the scholarship in accordance with the rules.)
- (2) Value of scholarship and scholarship loan
 - ① Value of scholarship (foreign students)
The 2017 fiscal year ¥50,000/month
(No need Scholarship repayments for foreign students)
 - ② Value of scholarship loan
The 2017 fiscal year ¥80,000/month
- (3) Commencement of loan
From April 2017
* The 2016 fall-admissions person is also the same.
- (4) Loan method
The scholarship loan for 2-months is transferred into the scholarship recipient's personal account at a financial institution at the start of each even-numbered month.
- (5) Loan repayments

a) Scholarship recipients are excused from repayment if they engage in scientific research activities for a designated period at a university research organization, where designated by the foundation (corresponding to the organizations designated by Japan Student Services Organization).

b) In cases other than those described in a) above, the loan is to be repaid in half-yearly installments in a period less than 5 times the number of months of the scholarship loan period, it starting from 6 months after the completion of the loan period. However, the loan is interest free.

- (6) Other
 - a) We accept that you receive other scholarship.
 - b) Not obligated to join Teijin Limited.

Overview of the Teijin Scholarship Foundation



Teijin Ltd. Founder.
Seita Kumura
(1880-1951)

The Teijin Kumura Scholarship system was started to commemorate the 35th anniversary of Teijin Limited's founding in 1953 and to honor the achievements of Seita Kumura, who established rayon manufacturing technology in its own right and is known as the "father of the Japanese rayon industry". The purpose of this Scholarship system is to cultivate young engineers and scientists who would succeed to and develop Mr. Kumura's spirit of creative R&D and contribute to the development of our nation and society and the creation of culture. In July 1954, the company established the foundation "the Teijin Scholarship Foundation" for the scholarship system in order for the further development of the system. With its transition to public Interest Incorporated Foundation, it has been accredited by Prime Minister in October 2011.

The essential spirit that has permeated the system since its establishment has not changed. The system is not run for the sake of one company and takes as its central aim the cultivation of the human resources that will be responsible for the development of national society.

Because of this aim, recipients of scholarship loans are excused from repayment if they are involved in research at a university or public laboratory after graduation. In addition, scholarship loans are recognized if an applicant has done well at school, irrespective of economic conditions, etc., in order to cultivate the researchers who will be responsible for the science and technology of the future.

Furthermore, since its founding, this system has never set mandatory restraints and has firmly maintained the essential qualities of the foundation. Until this point, about 1,500 people have been active in university research organizations and private companies.

1. History

June 1953

Teijin Limited established an educational scholarship system as a project to commemorate the 35th anniversary of the establishment of the company.

July 1954

The Education Minister permitted Teijin Limited to establish the Teijin Scholarship Foundation. The foundation continues to the present day.

October 2011

With its transition to public Interest Incorporated Foundation, it has been accredited by Prime Minister.

2. Aim

The foundation aims to cultivate human resources who will become aware of their mission as scientists and engineers and be responsible for the development of our nation and society and the creation of culture.

3. The Origins of the Names "Teijin Kumura Scholarship" and "Teijin Kumura Scholar"

The scholarship awarded by the foundation was named the "Kumura Scholarship" and the recipients of the scholarship "Kumura Scholars" in order to honor the achievements of Seita Kumura, who was the first person in Japan to establish rayon manufacturing technology and subsequently built the foundations for the development of the rayon industry, and to communicate those achievements eternally to later generations. To mark the 50th anniversary of this scholarship system, they have been renamed the "Teijin Kumura Scholarship" and "Teijin Kumura Scholars" respectively.

4. Project Details

Teijin Kumura Scholarship loans are awarded to graduate school students in technology-related disciplines.

5. The total number of scholarship recipients

1,595 Teijin Kumura Scholars from the first year of the program (1953) to the 64th (2016).

6. Executive

President

Jun Suzuki (President and CEO, Representative Director of the Board, Teijin Limited)

Directors

Shigeru Ohta (Professor, Graduate School of Hiroshima University)

Haruhiko Ohta (Professor, Graduate School of Kyushu University)

Naoki Katoh (Directors and Selection Committee)

(Honorary Professor, Kyoto University/ Professor, Kwasei Gakuin University)

Auditors

Atsushi Takahara (Professor, Institute for Materials Chemistry and Engineering, Kyushu University)

Atsushi Mugitani (Corporate Auditor, Teijin Limited)

Councilors

Tatsuo Uchida (Honorary Professor, Tohoku University/ Advisor, Institute of National Colleges of Technology, Japan)

Mitsuo Sawamoto (Professor, Graduate School of Kyoto University)

Nobuharu Iwasawa (Professor, Graduate School of Tokyo Institute of Technology)

Hiroyuki Umetani (General Manager, Research & Development Division, Technology Center, Teijin Group)

Selection Committee

Kazunori Kataoka (Director General, KAWASAKI INSTITUTE OF INDUSTRY PROMOTION Innovation Center of NanoMedicine)

Motomasa Kobayashi (Professor, Graduate School of Osaka University)

Yo Goto (General Manager, Technology Center, Teijin Group)

Yasuhiro Hayakawa (Chief Human Resources Officer, Teijin Group)

(As of January 2017)

"Young people go overseas!"

~ Message from a Nobel Prize Laureate in Chemistry (2010) Dr. Ei-ichi Negishi ~

When I joined Teijin in 1958, Shinzo Oya the president at that time told, "Young people must go overseas. You will be able to speak three languages in 30 years, if you learn one language in 10 years. Then you will become world-class talent. The starting point that I was able to walk on such a way is in the word of President Oya.

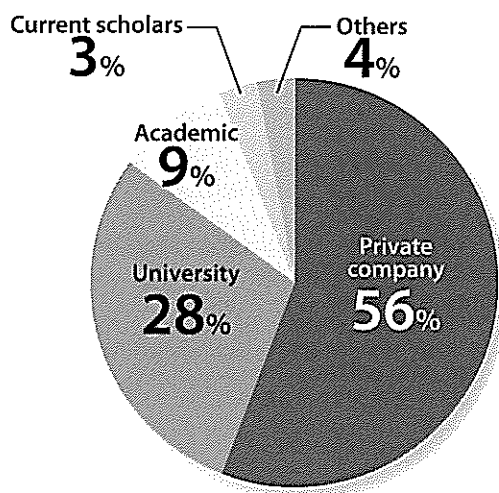
In the field of chemistry, the competition is worldwide, and our playground has extended across the world. Now, you have to look for the professor from the world and aim for the top in the worldwide competition. For the young people like you, I suggest you to go overseas aggressively.

When you find your own "Dream", please challenge it thoroughly until the truth is investigated. I look forward to your great success in the future.



Purdue University
Distinguished Professor
Mr. Ei-ichi Negishi
(Teijin Group Distinguished Fellow)
5th year Teijin Kumura scholarship (1957)

Teijin Kumura Scholar Data



Total number of Teijin kumura Scholars **1,595**

Current Teijin kumura Scholars **40**

About Teijin Group

The Teijin Group will soon celebrate its 100th anniversary. Founded in 1918 as the first manufacturer of rayon yarn in Japan, we have overcome extremely difficult issues, established rayon manufacturing technologies and widely developed the business. Following that, endowed with the spirit of challenge and continuing to develop chemical technologies and expertise, we expanded our business and progressed into new fields. Through these efforts we grew as a synthetic fibers manufacturer, advanced into the medical business, and created the home oxygen therapy (HOT) business that had not existed in Japan before. We are currently developing three different business domains: high-performance materials including advanced fibers and composites, electronics materials and performance polymer products; healthcare, including pharmaceuticals and home healthcare equipment; and IT.

In an international community where the environment changes rapidly, today the Teijin Group is implementing a solutions-oriented business model, carrying out drastic forward-looking transformation and growth strategies, and bold restructuring initiatives. With the three business domains, our challenge is to create new value never before realized by integrating the competitive edge and key capabilities in each of these domains. Through providing value needed by society and customers, such as solutions responding to macroeconomic trends like environmental and energy conservation, safety, security and disaster mitigation, and demographic change and increased health consciousness, we will contribute to "enhancing the quality of life" of people everywhere, as it states in our corporate philosophy.

With spirit and passion for supporting future society, the Teijin Group aims to realize sustainable growth by creating and providing new value. Although the pathway to achieve this is not smooth, we will constantly push forward with corporate reforms united as a group.

Overview of Teijin Limited

Established June 1918
 Representative Jun Suzuki, President and CEO
 Capital 70.8 billion yen (March 2016)
 Sales Consolidated: 790.7 billion yen (March 2016)
 Operating profit Consolidated: 67.1 billion yen (March 2016)
 Number of employees Consolidated: 15,756 (March 2016)
 Description of main business Synthetic fibers, chemical products, drugs and medical products, distribution/retail, IT, new business

URL: <http://www.teijin.co.jp/>

Teijin Scholarship Foundation

Direct scholarship application documents and inquiries to:
 Teijin Scholarship Foundation
 (Human Resources Department, Teijin Limited)

2-1, Kasumigaseki 3-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8585

Tel: 03-3506-4424 E-mail: kumura@teijin.co.jp

<http://www.teijin.co.jp/eco/scholarship/index.html>